

国際シンポジウム 「地域と学び」

豪州とハワイの専門家を交えて

世界規模での大きな経済活動の前で、改めて「地域」が注目されています。

人々がその地で環境と調和した暮らしを積み重ねてゆくことができるのか。「持続可能な社会」を目指して「地域」と「学び」がどう組み立てられてゆくのか。

エコプラスは、日本を代表する環境教育の研究者や実践者のみなさんと、全国でのさまざまな取り組みを調査分析し、海外の事例ももとに、何が地域に根ざした学びに重要なのかを追求してきました。今回、独自の取り組みを続けるオーストラリアのロン・トゥースさんとハワイのククイ・マウナケアフォースさんを招き、意見を交わします。



日時 :2014年2月1日(土)10:00-16:30

場所 :東京・池袋 立教大学太刀川記念館多目的ホール

特別ゲスト :ロン・トゥースさん、ククイ・マウナケアフォースさん

入場 :無料

主催 :特定非営利活動法人 ECOPLUS

共催 :立教大学 ESD 研究所

助成 :独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金

*企画委員:阿部治・立教大学教授、安藤聡彦・埼玉大学教授、木俣美樹男・東京学芸大学教授、佐々木豊志・くりこま高原自然学校代表、佐久間憲生・出羽三山の自然を守る会理事長、高野孝子・エコプラス代表理事、横山隆一・日本自然保護協会理事

特別ゲスト



ロン・トゥースさん Dr. Ron Tooth

プレンヴェール環境教育センター長

プレンヴェール環境教育センター (PEEC) を設立、オーストラリアの環境教育の牽引者のひとり。PEEC ではクリエイティブな教師陣と「ストーリースレッド教育 (Storythread Pedagogy)」という手法を生み出した。「語り」と「場」を折り込んだ環境教育を PEEC の生徒と教師に提供している。また、クイーンズランド大学の教育学科で非常勤准教授を務める傍ら、「地域に根ざした教育 (PBE)」と「教室を超えた学び (LBC)」の調査プロジェクトにも携わっている。



ククイ・マウナケアフォースさん

Ms. Kukui Maunakea-Forth

ワイアナエ地域再開発コーポレーション代表

ハワイ大学を卒業後、有機農場の運営、若者への訓練、カフェの運営などを始める。2001 年からワイアナエ地域再開発コーポレーション (WCRC) の代表。政府・民間と連携して地域の調査、再開発に携わる。職員の雇用、訓練、評価といった日常業務からファンド形成、補助金業務、広報、連携開発などを行う。その他にも数多くの団体を通じて若者への教育に携わってきた経歴を持ち、地域の小学校で「地域学習」の教師を務める。

コメンテーター

ピーター・レンショウさん

Prof. Peter Renshaw

クイーンズランド大学教育学部長、教授

学校教育における「学び」と「教え」を研究のテーマとする。現在は生徒の多様性と教師の「教え」の質についてのアセスメントなどについて研究している。1991～2002年、オーストラリア教育研究学会会長。

スケジュール案

- 9.30 受付開始
- 10.00 あいさつと経緯説明
- 10.15 基調講演1 ロン・トゥースさん
- 11.25 基調講演2 ククイ・マウナケアフォースさん
- 12.30 昼食
- 13.40 地域に根ざした環境教育モデルの提案
- 14.05 パネルディスカッション
- 16:10 まとめ
- 16.30 終了

参加申込

氏名、所属、連絡先（郵便番号、住所、電話、メールアドレス）を、エコプラス事務局（info@ecoplus.jp FAX:03-5294-1442）までお知らせください。後日報告書をお送りします。当日参加も可能ですが、できるだけ事前お申し込みをお願いします。



特定非営利活動法人 ECOPLUS

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-5-16-4F

TEL:03-5294-1441 FAX:03-5294-1442 E-Mail:info@ecoplus.jp

<http://www.ecoplus.jp/>